

職場要求で主管課長交渉・所属長交渉を実施中

農業関係 2 課長交渉を実施



自治労県職農業技術職員連絡会は1月24日、農政課長・農業経営課長と交渉を実施しました。主な要求課題として、

①大量の退職者に対応する人員確保②若手職員の人材育成の体制と技術の継承③農技センターの早期改築と修繕④滞留する昇任の遅れの是正⑤GAP指導員の資格取得と更新への負担支援等を求めました。これに対して両課長から「来年度の新規採用者については、一定の確保が得られるものと考えているが、大量の退職者のノウハウを若手に引き継ぐのが重要な課題と認識している。時代にあった研修体系のもとにトレーナー制度やOJT等を通じて早期の育成を図りたい。昇任の課題については本庁・地方のポストに拘わらず精一杯人事当局へ働きかけたい。農技センターの改築は更新計画に上がっているが、それまでの間、安心して利用してもらえよう改修は年次的に対応したい。GAPの資格取得は重要と認識し、取得時の予算措置はしている。」と回答しました。組合は、新採者の確保と配置バランス、人材育成のあり方、GAPの更新時の予算措置の問題などで議論し改善を求めました。

水産試験場長交渉を実施



水産試験場班は1月31日、場長交渉を実施しました。交渉では、①研究業務の増に対応する人員の確保②施設の早急な改築③安全性に欠ける公用車の更新④非常勤職員

等の確保とその対応などを中心に話し合いました。

アユ不漁や外来魚など研究業務は増大するが人員は厳しく各係ともギリギリの状態との声、試験場の早急な改修を求める意見、インターネット環境の改善や公用車の更新を求める訴えなど、組合員からの率直な発言がありました。遠藤場長からは「新たな研究課題で業務が多くなっている状況は理解しており、人員確保へ努力は続けたい。施設の更新等については、時期がこれ以上遅れないように働きかけたい。公用車の更新は予算の関係で厳しい状況が続いているが、良い方法がないかと考えている。非常勤職員等の確保や対応は、適切に対応したい。」などの回答がありました。

耕地課・農村整備課長交渉を実施



自治労県職土地改良職員協議会は2月4日、耕地課長・農村振興課長と交渉を実施しました。

交渉では、①来年度の土地改良職場の人員確保、②技術継承と若手職員の人材育成③入札・積算業務の改善、④働き方改革の課題、⑤会計年度任用職員制度の課題などに対し回答を求めました。

これに対して、由谷耕地課長は「来年度は防災・減災・国土強靱化の3カ年緊急対策で事業量が増加する予定であり、新規採用を始め、他部局等への交流人事の見直し、さらに現場技術業務委託も含め対応する予定で現場での体制充実に努めたい。中堅職員の絶対的な不足を認識しており、若手職員の育成や技術継承は重要な課題と受け止めている。入札・積算業務での課題について、職員が萎縮することのないよう対応していきたい。」等の回答がありました。

なお、併せて総会を開催し、会長に、松吉詔彦さん（東近江・田園振興課）、事務局長に森川学さん（湖北・田園振興課）他の役員を選出しました。

障害福祉課長交渉を実施 近江学園長交渉を実施



自治労県職は1月30日、障害福祉課長交渉を実施しました。交渉では、①近江学園の改築の動向、今後の人員体制の確保②近江学園の調理員確保、非常勤職員の処遇改善③

福祉専門職のキャリアパス④信楽学園等のあり方等の課題で議論しました。丸山課長は「近江学園の改築について来年度予算としては、PFI方式を前提にアドバイザー委託費を見込んでいるが、入所児童への支援を委託化することは考えていない。また開所は、平成34年度中を予定している。改築後の人員体制も含めて、今後、現場とも意見交換しながら検討していきたい。調理員については現状や委託化の課題の話も聞かせて頂いた。しっかりと検討していきたい。福祉専門職のキャリアパスについては、社会福祉職の採用という要素も含めて皆さんの力が最大限発揮できるよう努力したい。」と回答。

この交渉に先立ち近江学園の寺田園長と交渉を実施。人員体制の確保、非常勤職員の確保と処遇改善等について要望しました。



2019春闘 春始まりの合図

春闘が始まりました。春闘時期には私たちの賃金・労働条件について政府や人事院へ要求書を提出し交渉を行います。自治労は4つの重点課題（①労使交渉ルールの確立②民間職場の賃金労働条件の改善③会計年度任用職員制度の確立④時間外労働の上限規制と36協定の締結および人員確保）を設定し、2019春闘を闘います。地域から春闘を盛り上げていきましょう。

自治労のスト批准投票の成功を

自治労として、たたかう決意を内外に示すため圧倒的な高率でストライキ批准投票を成功させましょう。

県庁売店がコンビニに改装 3/4開始

滋賀県職員生協では、組合員のサービス向上を図るため、従来の県庁売店をコンビニ（ニューヤマザキデイリーストア）に改装することとなりました。営業時間も7時30分から18時30分になるなど利用しやすくなっています。

○改装中の営業：仮説店舗（現在の売場を縮小）で営業（2月25日～28日まで）

○新装オープン：3月4日（月）午前7時30分

○ポイントカード：「デイリーヤマザキ楽天ポイントカード」を希望者に配布（利用開始には事前登録要）

